

品目	長雨・日照不足対策（2月）	
麦類	<ul style="list-style-type: none"> ・排水溝から落水口へ流れるよう、つなぎ目の部分と落水口付近の溝さらえを行い、落水口を可能な限り下げ、落差をつける。ほ場全体がある程度乾いた時点で、排水溝の補修と土入れを行う。 ・除草剤を散布する場合は、「主要農作物病害虫・雑草防除指針」の農薬使用基準を遵守する。 ・土壌水分が多い場合や、播種期が遅く生育が緩慢な場合は、麦踏みは行わない。 ・湿害により生育が悪い場合は追肥する。 	
野菜	露地野菜の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・湿害回避のため、排水溝などを追加・点検し、ほ場の排水に努める。アブラナ科野菜は湿害に弱いので、排水に特に注意する。 ・病害が発生しやすい場合は、晴れ間をみて「主要農作物病害虫・雑草防除指針」の農薬使用基準に沿って早めに防除する。 ・降雨により肥料が流亡している場合は、草勢を見ながら早めに追肥する。 ・レタスでは、ビニルトンネル内の湿度を下げるため、好天日を選んで、換気する。
	施設野菜の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内、施設周りの排水に努める。 ・晴天日には、十分に換気を行い、施設内の湿度低下に努める。暖房機を用いた除湿運転や、送風のみを併用することによって、除湿効果は高くなる。 ・灌水は少量で多回数行う。 ・降雨、曇天日に摘葉は行わない。 キュウリ、イチゴなどの古葉を摘葉する場合は暖房機を運転し、傷口を乾燥させる。 ・日照不足により草勢が衰えている場合は、着果負担を軽減するため、摘果・摘蕾する。 ・病害が発生しやすい場合は、「主要農作物病害虫・雑草防除指針」の農薬使用基準に沿って燻煙剤、フローダスト剤、常温煙霧による防除を行い、噴霧器による薬剤散布は最小限に止める。 ・噴霧器による防除をする場合は、晴天日を選んで、夕方のハウス密閉までに薬液が乾くように散布する。 ・ミツバチなど訪花昆虫を用いる栽培では、受粉活動を観察し、数日間、訪花がないようであれば暖房機を運転して室温を上げる。
果樹	露地栽培の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・湿害回避のため、排水溝などを追加、点検し、ほ場の排水に努める。
	施設栽培の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内、施設周りの排水に努める。 ・昼間は十分に換気を行い、ハウス内の湿度を下げる。 ・ブドウの早期加温栽培では新梢の軟弱徒長を防止するために、枝管理を徹底し、夜温を1～2℃下げる。また、葉の緑化を促進するために液肥の葉面散布を2～3回行う。 ・生理落果期に達しているハウスミカン（春枝母枝型加温）は、夜温を1～2℃下げて、結実を促進する。新梢発生が多い場合には芽かぎをする。 ・病害が発生しやすい場合は、「主要農作物病害虫・雑草防除指針」の農薬使用基準に沿って早めに防除する。農薬による防除はできる限り燻煙、フローダスト剤、常温煙霧などで行い、噴霧器による薬液散布は必要最小限に止める。
花き	<ul style="list-style-type: none"> ・観葉植物など強い日射を嫌う種類の花きにとっては、日照不足は悪影響をおよぼさないとと思われるが、花を咲かせる必要がある花きにとっての日照不足は、品質を著しく低下させるため、以下の対策を講じる。 	
	露地栽培の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場内の水は、排水溝を通じて外へ排出し、湿害を防止する。

	施設栽培の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間は、十分に換気する。 温度低下をきたすために換気できない場合は、室内換気扇や温風暖房機による送風を強制的に行う。 ・灌水は、必要最小限に止め、こまめに行う。 ・農薬による防除は、主要農作物病害虫・雑草防除指針」の農薬使用基準に沿って燻煙を行い、噴霧器による薬液散布は必要最小限に止める。 ・り病部分はできる限り除去し、施設外へ搬出して焼却処分する。 ・生育や商品価値に支障がない限り、<u>芽かぎ</u>、<u>整芽</u>、<u>下葉かぎ</u>を早めに行い、植物群落内の通風や採光をよくする。 ・寡日照が続く中での晴天時は、急激な温度上昇による葉焼け、落蕾、茎折れなどを起こしやすいので、換気する。 ・施設回りの排水を徹底し、施設内部へ水が入り込まないようにし、根腐れ防止に努める。
畜産	境 畜舎の環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・畜舎の周辺や運動場の排水溝の掃除をして、排水に努める。 ・畜舎内の通風と換気に努め、敷料は早めに交換する等して畜舎内の乾燥に努める。
	栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場の排水に努め、根腐れを防止する。 ・刈取り適期の飼料作物や牧草は天候を見て、計画的に刈り取り、濡れないようにする。 ・播種予定のほ場では排水に努め、播き遅れのないようにする。